



はたらくふくおか 事業報告書

はたらくふくおか実行委員会

(NPO法人九州コミュニティ研究所、株式会社ジェイコム九州、福岡市 創業・大学連携課)

(1) 共働のきっかけ・必要性

はたらくふくおか実行委員会は、NPO法人九州コミュニティ研究所(以下、CRIK)、株式会社ジェイコム九州(以下、ジェイコム)、福岡市経済観光文化局 創業・大学連携課(以下、創業・大学連携課)の3者共働で運営しています。民間組織が持つ企画力・デザイン力・コンテンツ制作等の専門スキルと、福岡市が持つネットワークおよび情報リソースを掛け合わせることで、福岡の学生に向け、浸透度の高い情報提供を効果的に実施できると考えました。



事業を提案した理由(CRIKとジェイコム)

事業提案にあたっては、大きく2つの理由があり、1つは新卒社員のネガティブな理由による離職の抑制、もう1つは地元企業の適切なPRを行うことによる採用・就職活動の選択肢を増やすことです。CRIK、ジェイコムともに、さまざまな地元企業やNPOなどへの取材などを通して、福岡市内に多様な職種・就職環境があることを感じているものの、学生には大手企業以外の情報はなかなか伝わっていないのではという感触がありました。もし、学生が就職活動を始める前に、いろんな価値観の企業があることを伝えられたら、「自分の考え方に合いそうな企業」について考えるきっかけが生まれ、「入ってみたい理想していた姿と違う」といったネガティブな理由での離職を減らせるかもしれないと考え、提案に至りました。

創業・大学連携課がこの事業に取り組む理由

当課では、「大学ネットワークふくおか」という、福岡都市圏19大学、福岡商工会議所、福岡市で構成される組織の事務局を担っています。大学生の活動支援が課の目的であるため、当事業は親和性が高く、取り組む意義があると感じています。成果物については、大学ネットワークふくおかの加盟大学を通じ、広範囲の大学生に広報することが可能です。また、福岡商工会議所も会員であるため地元企業の意見も反映したコンテンツ作成を期待できると考えています。

(2) 事業の目的

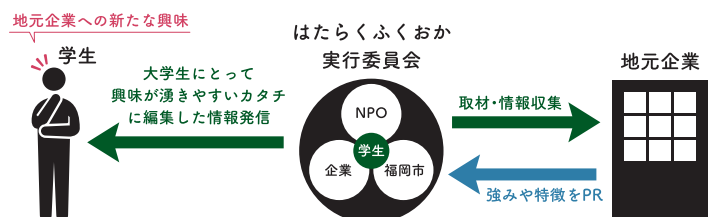
福岡の大学で学ぶ大学生=大切な人材に向けて、「福岡に定着(就職)したくなる情報」を届けることを目的とします。福岡の地元企業の「はたらく現場」をリアルに感じられる情報提供を行い、未来の自分像を想像してもらう機会をつくり、福岡での就職に前向きになることを目指します。

福岡で活躍されている中小企業にスポットを当てた情報収集・発信に力を入れることで、大手企業がクローズアップされやすい就職のシーンに、福岡ならではの企業や職種の存在をPRすることで、多様な選択肢がある就職環境の創出、市内大学生等の福岡への定着促進を図ります。

就職関係の情報の伝わり方(現状)



「はたらくふくおか」が目指すもの



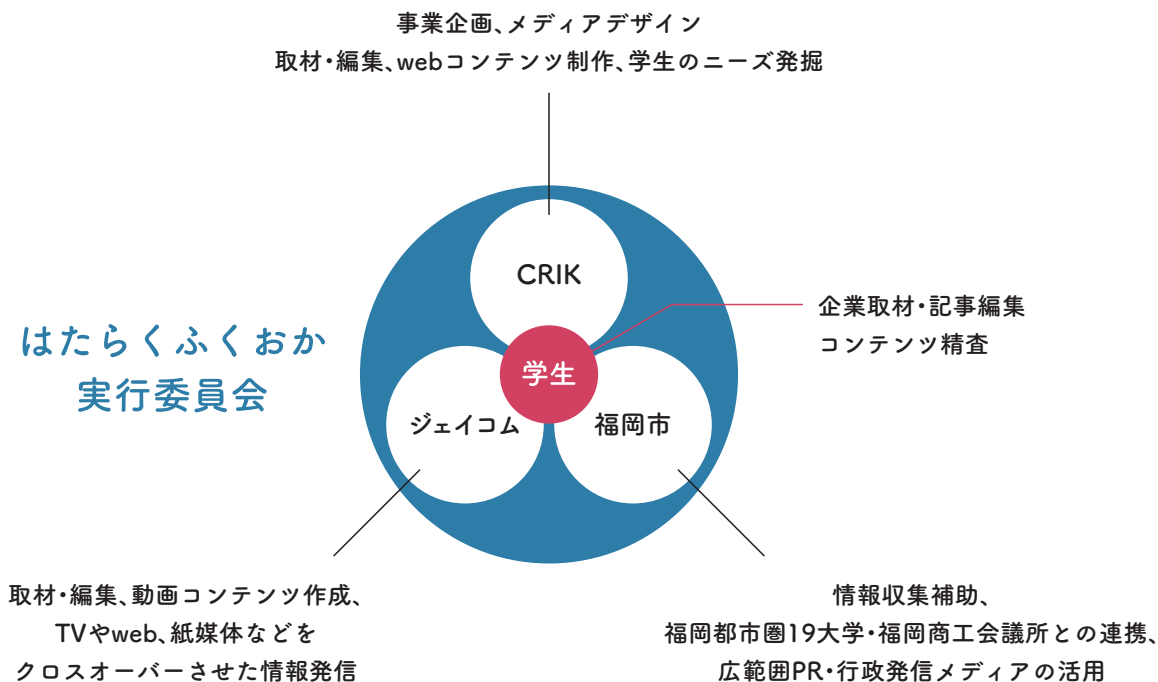
(3) 事業目標

さまざまな仕事に興味を持ったり、身近な福岡の企業について知るきっかけをつくり、就活が始まる“前”に、「この仕事に挑戦してみたい！」と思える仕事に出会える若者を増やすことを目指します。また、福岡の学生に興味を持ってもらいたい企業にとっても、制作したコンテンツを活用いただくことで、これまでと異なる視点で自社をPRすることができ、新しいマッチングの可能性が生まれると考えています。

成果の把握については、主にアンケートとヒアリングにて行いました。制作したコンテンツの主な対象者である大学生から直接意見をもらい、「福岡の企業に興味が出たかどうか」「職業観に変化があったか」等を把握します。地元にて特化した企業情報の発信を目的としているため、福岡の大学生からの意見を重要視した成果把握としました。

成果指標	手法・対象	目標数値
福岡の企業に興味を持った人をカウント（webサイトのページビューやSNSのリーチ数等を把握）	Webサイト内にアクセスカウンターを設置	2,000人／年
福岡の企業への就職に対する意識向上者の割合（大学生アンケート対象者）	大学ネットワークふくおかや創業大学連携課が実施する事業の参加者を対象にアンケートを実施	意識向上者 70%以上
福岡の企業への就職に対する意識向上者の割合（大学生ヒアリング対象者）	編集部として関わってくれた学生に、事業内容と自身の職業観への変化についてヒアリングを実施	意識向上者 80%以上
取材企業向けにヒアリングを行いコンテンツの満足度（魅力をPRできたかどうか）を調査	取材先企業に、掲載内容の満足度についてヒアリングを実施	満足度 70%以上

(4) 役割分担



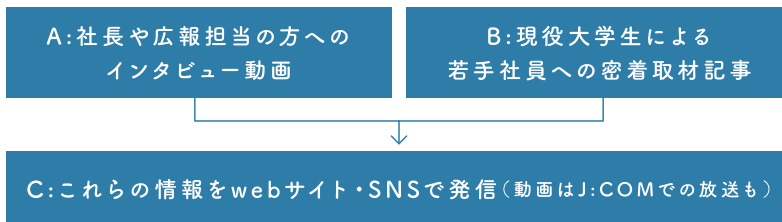
(5) 事業概要

当事業で制作するもの…はたらく喜びや多様な職業観を“学生目線”で伝えるwebサイト

福岡の企業で働く現役の方々の声を、webサイト上の動画や記事コンテンツで発信し、仕事への興味の入り口をつくりま
す。また、動画コンテンツは、webサイトだけでなく、J:COMのコミュニティチャンネル(視聴無料)での放送を行います。

コンテンツの制作には、メインターゲットでもある大学生に**編集部メンバー(以下、大学生編集部)**として関わって
いただきました。大学生に「**情報を受け取る**」だけでなく、「**情報を集めて発信する**」側になってもらうことで、**より多くの学生に共
感してもらえる内容**になると考えました。大学生編集部メンバーの募集は、福岡市HPでの公募や、大学ネットワークふくお
かを通じて行いました。

サイトコンテンツ概要



A: 会社の理念を伝えられる方へのインタビュー動画

大学生とともに、企業を訪問し、仕事(職業)について、一問一答形式のインタビューを実施し、動画で撮影します。ここで
お話しただくのは、企業の代表者や責任者、広報担当など、会社の歴史や理念などを十分に伝えられる方としています。

B: 先輩から話を聞いているようなインタビュー記事

若手社員の方にもインタビューを実施します。先輩の話を聞いているような雰囲気、代表者や責任者と異なった視点、よ
り学生目線に近いところで、会社や仕事の魅力を伝えていきます。ここでの**インタビュアーは、大学生編集部**です。ポイント
としては、「仕事のツライところ」などのリアルな声も合わせて聞くようにしています。その上で「それを踏まえてでも今の
会社にいる理由や、何にも代えがたい喜び」を聞くことが、就職後にギャップを感じ離職してしまうことの抑制につなが
ると考えているためです。このコンテンツは、文章や写真をベースとしたwebの記事として公開します。

(6) 実施内容

準備段階 平成29年 4月～6月

- スタッフ ● 実行委員会の立ち上げ、総会の開催
- スタッフ ● プロジェクトロゴの作成

「a」のフォームは、虫眼鏡やフキダシがモチーフです。情報を探したり、共有・拡散する様子を表現しました。文字がところどころに伸びているのは、学生の興味が多方面に広がるという意味合いを込めています。
- スタッフ ● 取材希望企業および大学生編集部の募集

福岡市ホームページ内に、特設ページを開設し、取材を受け入れていただく企業と、取材に行きたい大学生を同時に募集しました。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/keizai/r-support/business/hataraku-f.html>
- スタッフ & 大学生 ● 大学生編集部向け事業説明会の開催(3回)

プロジェクト参加を検討する学生向けに、事業概要および、制作内容、期待することを伝えるための説明会を開催しました。全3回で20名の参加があり、うち19名の学生が編集部への参加を希望してくれました。

Find your future in Fukuoka!



▲プロジェクトロゴ



▲募集ページ



▲説明会チラシ

(6) 実施内容

取材・記事制作 平成29年7月～平成30年3月

取材企業との日程・内容調整

取材させていただく企業とは、必ず事前調整を行います。企業の特徴的な部分やPRポイントについて、スタッフが事前ヒアリングを行い、学生が質問を考える際にその情報を提供しました。



▲質問内容を考える大学生編集部メンバー

大学生編集部メンバーとの事前調整

大学生編集部の参加は、1社あたり1～2名としており、企業との日程調整のうえ、希望者を募りました(希望者多数の場合、抽選)。取材に行くことが決まった大学生とは、取材前に打ち合わせを行い、質問内容の準備やシュミレーション、名刺交換の練習などを行いました。



▲取材当日の様子、はたらく現場も見せていただきます

取材の実施

取材当日は、共働3者のスタッフと、大学生編集部で企業を訪問しました。取材の細かなスケジュールや流れは、受入企業によって異なりますが、基本的には「社長へのインタビュー」と「若手社員への密着取材」は同日に行ないました。

大学生編集部との記事制作

若手社員への密着取材記事については、記事の制作も、大学生編集部とともにいきます。実際に取材に行った学生とともに、印象に残ったセリフなどをピックアップし、大学生目線で興味が湧く内容に仕上げていきます。



▲社長インタビューの風景(株式会社マルタイ)

動画コンテンツの編集

撮影した社長へのインタビュー動画は、イントロとなる会社紹介を含め、計5分に編集を行いました。当日インタビューした内容の中でも、社風や特徴が伝わってくる質問をピックアップし、紹介しています。この動画は、はたらくふくおかのWEBサイトをはじめ、J:COMチャンネルでの放送、YouTubeでの閲覧も可能となっています。

WEBサイトへのアップロード

大学生編集部とともに作成した記事および、インタビュー動画は、編集後に取材企業への内容確認を取り、はたらくふくおかのWEBサイトへアップロードしました。



▲社長インタビューの風景(有限会社BLUE ZOO)

取材企業一覧(7社)

- 01 株式会社マルタイ
- 02 BLUE ZOO 有限会社(パンダタクシー)
- 03 株式会社 秀電社
- 04 福岡大同青果 株式会社
- 05 株式会社 三立鑑定
- 06 株式会社 アドコムソフト
- 07 株式会社 喜多村石油店



▲印象に残った箇所を記事にまとめます

(6) 実施内容

webサイト制作・運用 平成29年6月～平成30年3月

スタッフ facebookページ作成

プロジェクトスタートに合わせて、平成29年4月18日に「はたらくふくおか」のfacebookページを開設し、運用を開始しました。平成30年3月31日時点でのfacebookページへのいいね！は96件となりました。
☞<https://www.facebook.com/hataraku-f/>



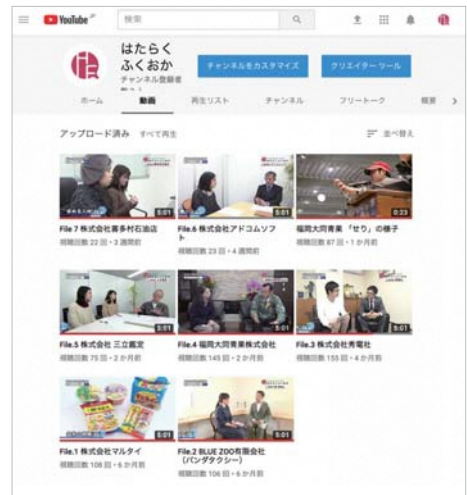
▲facebookページイメージ

スタッフ はたらくふくおか WEBサイト制作

今回の取材内容を紹介するプラットフォームとなるwebサイトは、7月ころよりデザイン・コーディングを開始し、10月16日にオープンしました。WEBサイトは、レスポンシブデザインで構成しており、PC環境からもスマートフォンやタブレットなどのデバイスからでも、最適化された状態で表示されます。(画面イメージは次ページに記載)
☞<http://hataraku-f.jp>

スタッフ YouTubeチャンネル作成

サイト内で紹介している社長のインタビュー動画は、YouTubeにアップした上で、リンクを埋め込んでいます。YouTubeでの閲覧ができ、動画の一元管理も可能なため、YouTubeチャンネルを開設しました。運用は、10月14日から開始しています。
☞<https://www.youtube.com/channel/UCukLJx6qyuJbeNEs5uAF72Q/>



▲YouTubeチャンネルイメージ

スタッフ twitterアカウント作成

webサイトオープン後、SNSでの告知をさらに拡散するため、10月31日にtwitterのアカウントも開設しました。実験段階であるため、ツイート数、フォロワー数ともに少ないですが、ハッシュタグ等の活用で、地道に継続していく予定です。
☞https://twitter.com/hataraku_f

スタッフ サイト紹介カード&チラシ作成

大学生にwebサイトを知ってもらうきっかけとなる紙媒体の広報ツールを作成しました。大学ネットワークふくおか関連のイベント時や、就職説明会での配布、各大学の就職支援課などへの配架も行いました。

Find your future in Fukuoka
Hataraku Fukuoka
はたらくふくおか

http://hataraku-f.jp
@hatarakuf @hataraku.f

「はたらくふくおか」って？
これは、「雇用の大学生」が「雇用の地元企業」を訪ね、社長と若手社員と直接インタビューして作るプロジェクトです。そして、聞いた内容を動画と記事に掲載し、アップしています。
雇用はどんな企業があるのか、どんな働き方があるのか、就職活動って何なのか...そんな悩みをお持ちでないですか？ぜひ、働く先輩方のお話を参考にしてみてください。
雇用で働きたいと思っている人はもちろん、そうでない方にもオススメです。あなたの職業観が広がるきっかけになるからしれません。アクセスお待ちしています。

▲はたらくふくおか紹介カード(名刺サイズ・両面)

仕事も働き方も、
いまの時代は十人十色。
就職活動を始める前に、
ぜひ見ていただきたい
webができました。

はたらくふくおか

このサイト「雇用の大学生」が「雇用の地元企業」を訪ね、社長と若手社員と直接インタビューして作るプロジェクトです。そして、聞いた内容を動画と記事に掲載し、アップしています。
雇用はどんな企業があるのか、どんな働き方があるのか、就職活動って何なのか...そんな悩みをお持ちでないですか？ぜひ、働く先輩方のお話を参考にしてみてください。
雇用で働きたいと思っている人はもちろん、そうでない方にもオススメです。あなたの職業観が広がるきっかけになるからしれません。アクセスお待ちしています。

http://hataraku-f.jp

はたらくふくおかのつの特徴

- 現役大学生によるインタビュー
- 若手社員のリアルな声が満載
- 自分らしい働き方が見えてくる

Find your future in Fukuoka
Hataraku Fukuoka
はたらくふくおか

続きはwebで!

▲はたらくふくおか紹介チラシ

Find your future in Fukuoka
Hataraku Fukuoka
はたらくふくおか

ツイート ツイートと返信 メディア

はたらくふくおか @hataraku_f

雇用の大学生が「雇用の地元企業」を訪ね、社長と若手社員と直接インタビューして作るプロジェクトです。そして、聞いた内容を動画と記事に掲載し、アップしています。
雇用はどんな企業があるのか、どんな働き方があるのか、就職活動って何なのか...そんな悩みをお持ちでないですか？ぜひ、働く先輩方のお話を参考にしてみてください。
雇用で働きたいと思っている人はもちろん、そうでない方にもオススメです。あなたの職業観が広がるきっかけになるからしれません。アクセスお待ちしています。

おすすめユーザー

大塚 健太 @kenta_otsuka

よしゆき @yoshiyuki13

アイカ建設事務所 @aikakaseisaku

おすすめトレンド

▲twitterページイメージ

(6) 実施内容

はたらくふくおか WEBサイトイメージ



▲TOPページイメージ



▲各社記事ページイメージ



WEBサイトURL
<http://hataraku-f.jp>



(7) 事業の成果

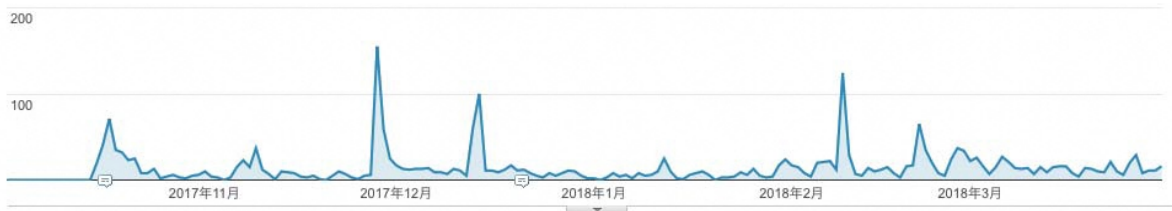
webサイト・SNS等に関して

●「はたらくふくおかwebサイト」の訪問ユーザー数およびPV(ページビュー)

<計測期間> 2017/10/16~2018/03/31

<累計ユーザー数> **1,741** <累計PV(ページビュー)数> **6,088**

<ユーザー数の遷移>



●「はたらくふくおかfacebookページ」の成果

<計測期間> 2017/04/18~2018/03/31

<facebookページへのいいね!数> **96** <投稿件数> **29**

<記事への総いいね!数> **688** <記事の総シェア数> **61**

<記事への総リーチ数> **14,024** *リーチ数:ページの投稿が画面に表示された人の数。

●「紹介カード」の配布箇所

- ・学生地域活動大賞 二次審査会(80枚)
- ・福岡大学 イベント(100枚)

●「紹介チラシ」の配布箇所

- ・福岡大学 就職・進路支援センター(4,000枚、1月16日持込)
- ・九州産業大学 キャリア支援センター(1,500枚、1月23日持込)
- ・西南学院大学(1,000枚、1月23日持込)
- ・福岡工業大学 就職課(1,000枚、2月8日持込)
- ・福岡女学院大学 進路就職課(500枚、3月16日持込)
- ・大学生編集部から知人へ(150枚、随時)



●J:COMコミュニティチャンネルでの放送

【放送時間】2017年11月~(月~金)①19:55~20:00、②21:55~22:00

【放送回数】週10回、月20回 ※毎月1回更新でリピート放送

【視聴可能世帯数(コミュニティチャンネルが視聴できる世帯数)】:約635,000世帯

▲はたらくふくおか紹介チラシ

(7) 事業の成果

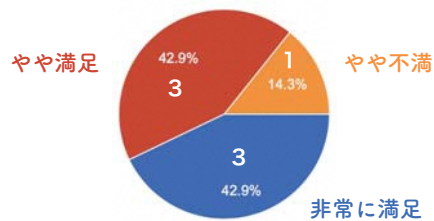
取材に関して

●取材状況と参加学生数

No.	取材企業名	取材日	取材対象者	大学生編集部
01	株式会社マルタイ	2017.08.30	3名	2名
02	BLUE ZOO 有限会社(パンダタクシー)	2017.09.11	3名	2名
03	株式会社 秀電社	2017.11.14	2名	1名
04	福岡大同青果 株式会社	2017.11.16	3名	1名
05	株式会社 三立鑑定	2018.02.01	2名	2名
06	株式会社 アドコムソフト	2018.02.13	3名	1名
07	株式会社 喜多村石油店	2018.02.16	2名	2名
			計18名	計11名(重複あり)

●取材企業アンケート

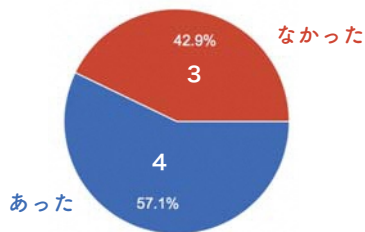
①:取材・記事内容について、御社の魅力や特徴を伝えられるものになっていましたか？



②:①の選択肢を選ばれた理由について教えてください(自由記述)

- ・自社のPR動画はなかなか自社単独では出来ないので作成してもらえて、非常にありがたかったです(費用的、企画的、時間的に)。
- ・コンパクトですが、しっかり伝えたいことが表現されています。
- ・事前に取材への準備はしていたが、カメラが回ると上手く伝えられなかった。
- ・写真なども、特徴を伝えられるものばかりだったから。とても素敵なページを作成していただき、ありがとうございました。今後も、このような機会がございましたら、ぜひ参加させていただきたく思います。
- ・内容を精査する準備時間が足りなかった(当社の受け入れ体制が原因です)
- ・トップインタビュー・密着取材ともに暖かい感じにまとまっており、イメージアップに繋がったと思う。
- ・当社からの情報提供が不十分でした

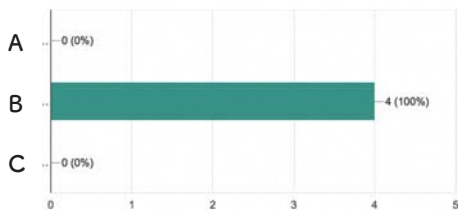
③:記事の効果・反響などはありましたか？



⑤:取材を受けて、改善すべきと感じられた点があれば教えてください。(自由記述)

- ・もう少し、取材の時のアドバイスをもらえたら良かったです。姿勢や声のトーンや表情やジェスチャーなど。
- ・用意すべき備品等ある場合や、弊社社員にポーズ等とってもらう写真の撮影は、どんな些細なことでも構いませんので、事前にお伝えしていただけたら助かります。(こちらの都合で準備できない場合もごめいますので・・・)
- ・社長取材の映像にテロップを付けて欲しかった。音楽が流れる関係で発言内容が聞き取りづかった。いろいろご対応いただき誠にありがとうございました。今後の採用活動等に活用できるようにしていきます。
- ・会社説明会時に「はたらくふくおか」について話したが、認知度が今一に感じた。当社は自発的に宣伝を行ったが、参加企業が採用活動時に宣伝できるようなツール作成や、依頼を行ったほうがいいのではないかと。

④:③で「あった」とお答えいただいた方にお聞きします。それは、どういった内容でしたか？(複数選択可)



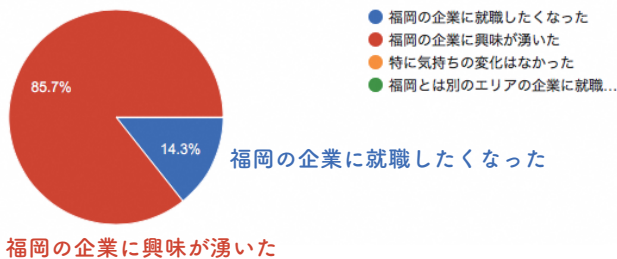
- A:webを見た大学生からのエントリーなどの申し込みがあった
- B:周囲の方から「見たよ」という声があった
- C:取材を受けた職員に良い変化があった

(7) 事業の成果

大学生編集部へのアンケート

●大学生編集部アンケート 【回答数=7】

①-1:福岡の地元企業に対する印象は変わりましたか？(選択式)

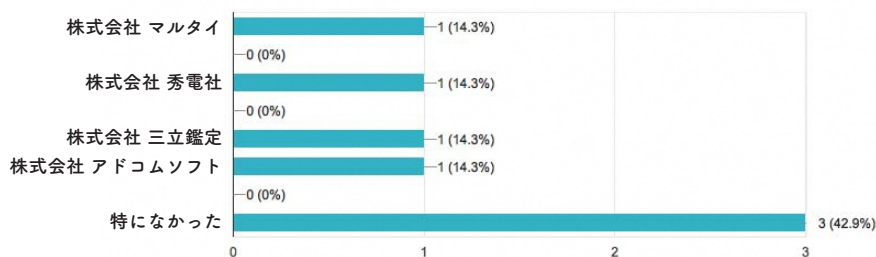


①-2:「①-1」の印象の変化について、どう変わったか具体的に教えてください。(自由記述)

- ・福岡に来たばかりで、何があるかもわからず、地元に戻って働こうかなと思っていたけど、福岡にも色々な企業があることを間近で見ることができたので、興味が湧きました。
- ・地元に貢献したいという企業の思いを知り、福岡の活性化につながる必要不可欠なものではないかと思うようになった。
- ・もともとどこで働きたいとかの希望はないけど、こんな企業もあるのか、ということを知れた。
- ・参加させてもらったときに、福岡のよさとか、福岡で起業した経緯などを直接、執行役員の方から伺えたのが、東京や大阪とは違う福岡のよさだと思ったし、そんな福岡に残って就職したいと思いました。また、企業というと、東京に多いイメージで、福岡にある会社をあまり知らなかったから、はたらくふくおかのサイトを見て、そのような福岡の中小企業を知ることができて、就職する会社の選択肢が広く感じられました。1年生だったので、就職や就活のイメージもできて、よかったです。
- ・福岡だけでなく、九州にも活躍していると感じました。
- ・就職するに当たって、福岡を出る選択肢しかなかったが、出ない選択肢も考え機会になった。
- ・三立鑑定の鑑定士など今まで聞いたことのなかった職種を知れたこと。

②-1:取材した(記事を読んだ)企業の中で、就職先の選択肢の一つとして考えてみようと思った企業はありましたか？

(複数選択可)



②-2:その理由を教えてください。(自由記述)

- ・これから色々知っていくうちに、自分に合った企業があると思うから。
- ・取材をした際に、社長をはじめ社員の方の雰囲気がよく、働きやすそうな環境だと感じたから。
- ・就職についてあまりまだはっきりしていないから。
- ・アドコムソフトさんは、プログラマーと、SEなどの職の内容や就業体制などを知って、面白いと思ったからです。また載っていた会社の方の語りぶりが面白かったです。二人の方からの、働いて1年目の本音が聞けたのが良かったです
- ・会社の雰囲気が凄く良かったからです。
- ・直接、訪問できたから 社員さんが格好いいと思ったから
- ・就職先が決まっていたことと業界として教育、医療などに興味があったため。

(7) 事業の成果

③: はたらくふくおかに参加して(記事を読んで)役に立ったことを教えてください。(自由記述)

- ・福岡で就職することへのいいイメージが湧きました!!私がお話を聞いた方も、もともと福岡出身ではないけど、こちらで就職されていて、身近な話も聞けたため、福岡で就職することも視野に入れやすくなりました!
- ・就活サイトなどをみると、大企業を見がちだったが、参加したことで、会社名にとらわれるのではなく、自分に合った企業を見るべきだと思った。
- ・名刺の渡し方などのご指導や、取材内容をどういう順で出せば面白くなるかを考える方法(ポストイットなどの利用)
- ・就活や就職のイメージがついたこと、福岡の中小企業について知ることができたこと、社会に出ている大人の方々と話す機会を得たこと
- ・社員それぞれの考え方がありますが、同じ目標を目指して頑張っている姿勢が感心しています。
- ・社員(役員)さんの直接の声を聞く事ができた。社会人としての心構えを学べた
- ・取材したあとの編集方法を知れたことです。人を取材して記事を自分でまとめたことはあったのですが、どうしたら良い記事を作ることができるかを知ることができたことが良かったです。

④: 就活や仕事・働き方などに関して、あなたが知りたい情報を教えてください(自由記述)

- ・やはり、新人社員さんからの話などを聞いて、包み隠さず企業の裏側を知りたいです。
- ・働き方改革が行われている中で、それぞれの企業がどのような工夫をしているのか。
- ・福岡でしかできない業務をしている、もしくはかかせない存在である企業や職業はもっとたくさんあると思うので、知りたい。
- ・どんな人材を求めているのかの本音 就活の際、どのようなことに気を付けて面接を受けたり、企業研究すればよいのか
- ・大学生のうちにしてほしいこと
- ・就活情報や企業の情報、インターンシップについての情報
- ・会社これからの経営計画や自分の知識を活かせるかなど。
- ・採用情報だけでは知る事が出来ない、生の情報を知ることができた。
- ・就活はいつの時期に何をしたらいいのか具体的に知りたかったです。大学の授業やバイト、サークル活動もある中で就活にはどの時期にどのぐらいかければよかったのか、どの段階から準備すれば慌てなかったのかを知りたかったです。

<大学生編集部の意識変容について>

平成29年度は19名の大学生に、編集部メンバーとしての登録をしていただきました。そのうち、取材から記事作成まで関わってくれたのは、1年生～大学院1年生まで、様々な学年の9名の学生です。アンケート結果から、福岡の地元企業に対する印象には変化が見られ、「福岡の企業に就職したくなった」、「福岡の企業に興味が増えた」と回答をもらっています。自由記述からは、「福岡に来たばかりで、何があるかもわからず、地元に戻って働こうかなと思っていただけ、福岡にも色々な企業があることを間近で見ることができたので、興味が増えました」、「福岡で就職することへのいいイメージが湧きました!」といった、福岡の企業へ興味を持つきっかけが育まれた実感を持てる回答もありました。他にも「大企業を見がちだったが、参加したことで、会社名にとらわれるのではなく、自分に合った企業を見るべきだと思った」など、柔軟な職業観の変化が見られた回答もありました。

また、嬉しい事例として、取材に伺った企業のインターンシップに申し込みをし、エントリーも検討しているという学生も出てきました。もともとは、その企業の名前も知らなかったそうですが、取材への参加がきっかけとなり、興味が増えたとのことでした。

以上のことから、当委員会としては、もちろん個人差はありますが、取材から記事化するプロセスの中で、大学生編集部にはそれぞれポジティブな職業観の変化があったと感じています。

(7) 事業の成果

大学生編集部へのヒアリング

Q.取材によって、福岡の企業に興味は湧いたか？

- A. 私が取材した企業は、福岡の地で会社を興して、お客さんやその他の特有で、福岡の人の人柄だからこそずっと長く続けてこれた、という話があって、東京や大阪はおそらく違う、「福岡の企業ならではの魅力」ってあるんだなと思った。初めは、就活、企業というところと東京の大手会社や大手チェーン見たいなところしか思いつかなかったけど、今回、福岡の中小企業を見学する機会を得て、また、他の人の企業取材をネットで見たときに福岡の中小企業という存在を知ることができたのが大きかった。
- A. 湧きました。どんな企業でもその会社なりの魅力があると気づき、会社の「こだわりがある部分」を感じられました。
- A. 福岡の大学に来てしばらくは、「地方に帰って就職しよう」と考えていました。だけど、福岡の企業を取材して、身近にあるものがどのようにできているかという企業が扱っているかを知ることができ、福岡での就職もいいと思うようになりました。今回私がもともと興味があった分野の企業に取材させていただいて、福岡で仕事することはどういうことなのか、身近に感じることで、福岡の企業にさらに興味は湧きました。
- A. もともと、福岡で働くことに興味があったのですが、具体的にどんなことができるのかなと不安もありました。今回の取材を通して、福岡に住む人がいる限り、その生活を支える企業・人材が必ず存在していると気づきました。自分に合う仕事を見つけ、大好きな福岡で働けたらと思います。

Q.参加してどうだったか？

- A. 春に説明会に参加してから、取材の日程が合わなくて、他の人が作った記事を見たりして、ずっと参加したいと思っていたから、今回参加することができてよかったです。社長など、社会的に偉い立場の方は、滅多に出会えることはできないと思うので、そのような人に取材できた経験だったり、記事には入れてないけれど、働く人の本音やアドバイスをもらったりすることができたことが、とてもよかったです。
- A. 初めてのことでしたが、最初から最後までサポートをしてくださり、これから就職するまで学生生活を他の学生よりも少しレベルアップさせることができそうなテクニック等を学ぶことができました。ありがとうございました。
- A. 参加して本当に良かったと思います。スタッフの方や取材した会社の社員さんが、私に本当に優しく涙が出るほど感激しました。大事な体験だと思います。
- A. 第一は楽しかったです！取材の時はやはり緊張しました。偉い方とお話する機会はなかなかないので、どのような振る舞いをしたらいいのかわからなくて、正しいことをしているのか常に不安でした。けど、経験できて良かったととても思います。質問を考えると、取材、編集まで、他では経験できないことができて、可能性を広げられたと感じます。もっと、取材とかして、いろんな企業さんを知りたいと思ったし、自分の考えもプラスに変わっていったし、参加してほしいと思いました。

(8) 課題と今後の事業計画

平成29年度の課題

①取材企業の募集に苦労した

webサイトのイメージが出来ていない状態での取材企業の募集だったため、当初予定より応募企業が少なく、決定までに時間がかかった。これにより、スケジュール全体が予定より後ろ倒しになってしまった。

②発信のタイミングが計画的でなかった

企業、学生、スタッフの三社の日程調整が難しい場合があり、本来であれば、定期的な更新ペース(月に一回など)を保ちたいところだったが、一部、偏りのある事業進行となってしまった。

③企業の魅力の掘り下げ方

大学生の興味・関心を基準にインタビュー項目を作成し、当日も大学生が自ら言葉を発すること重視した流れで取材を行った。参加した学生の経験値としては、効果のある方法だったが、記事内容や取材企業の魅力の掘り下げについては、まだまだ工夫が必要だと感じた。

④アクセス数の伸び悩み

当初目標だった2000ユーザーのアクセスを達成できず、反省が残った。webサイトの記事作成に重点をかけており、その後のPRに対して手探りの状態となり、良い成果が出せなかった。webサイトを紹介するチラシ等も作成し、各大学に配布したが、想定よりもそれによるアクセス増加は見られなかった。

平成30年度の改善方針

①取材企業の募集条件などの見直し

応募にかかる条件を見直し、より多くの地元企業の皆さまからご応募いただけるようにする。また、応募様式を改善し、予め企業がPRしたいポイントや掘り下げしてほしい売りの部分を聞いておくようにする。

②福岡商工会議所との連携強化

平成29年度も、多数ご協力をいただいた福岡商工会議所とミッションが共通する部分は、より連携を強化する。市内の企業へのプロジェクト紹介だけでなく、企業・学生を交えた交流会なども検討している。

③取材のスケジュールについて

平成30年度は学生の意思も尊重し、可能な限り取材したい企業に行けるよう調整する。それにより、質問内容も具体的になり、深掘りできると期待している。また、学生が動きやすい夏休みなどに3~4社ほど、取材に行くことも検討している。

④webサイトの認知度向上

編集部が体験したことを、より多くの学生に伝えるためには、情報の発信源であるwebサイトの認知度向上が必要です。平成30年度は、本編記事に加え、「就活」や「働き方」、「インターンシップ」など、学生が気になるキーワードを含む、ブログコンテンツの開設を検討し、より多様な学生からのアクセスを目指します。

(9) 担当者の声

CRIK
(NPO)

NPO・企業・行政という3者共働で事業を実施しているため、情報伝達の幅が広く、共働の意義が感じられました。大学生へのヒアリングやアンケートで、職業観への変化が見えたり、地元での就職に興味が出たという方が多くいたことが、事務局としての喜びです。

ジェイコム
(企業)

スタートしたばかりのピカピカの1年生で、事務局としても手探りしながら、たくさんの方のご協力をいただきながら進めていきました。地元企業の熱い思いやエピソード、大学生の率直な意見を聞き、私たちも日々勉強させてもらいました。今後も、どうぞご期待ください。

福岡市
(行政)

共働事業のパートナーであるNPOや企業をはじめ、取材に関わる大学生や、取材企業で働く方など様々な人と関わることで、私たち自身が新しい発見をするなど、刺激を受けながら前向きに取り組むことができています。